

これからの名大病院における先端・先進医療開発  
革新的医療技術創出拠点(先端医療・臨床研究支援センター)の取り組み

キーワードは  
「橋渡し」  
日本の医療の  
未来のために



水野 正明

医学部附属病院  
先端医療・臨床研究支援センター  
病院教授

基礎から臨床、産業化までを一元化する  
先端医療・臨床研究支援センター

日本は、創薬や医療機器創出において、世界トップレベルの基盤技術を持っています。ところが最終製品へのコーディネート力に欠けるため、医療産業では他の医療先進国に遅れを取っていました。この状況を打開するため、国は「文部科学省 橋渡し研究加速ネットワークプログラム」\*1と「厚生労働省 臨床研究中核病院整備事業」\*2を展開。さらに、それらを一体的に運用する「文部科学省・厚生労働省 革新的医療技術創出拠点プロジェクト」\*3を稼働させました。こうした国の動きに先駆けて、既に両施策を連結させてきたのが、本プロジェクトの拠点に採択された名古屋大学医学部附属病院先端医療・臨床研究支援センターです。本センターは、シーズの発掘から医療の定着までのプロセスを一元化する支援組

織で、基礎研究から、医薬品を初めて人に投与するファースト・イン・ヒューマンまでを担う先端医療支援部門と、それ以降の臨床研究・治験までを担う臨床研究支援部門との間を「橋渡し」する仕組みを構築しています。現在は治験の運用もコンスタントに行えるまでになり、着実に成果が上がり始めています。一方、医薬品や医療機器の開発には、医師だけでなく、さまざまな分野のプロフェッショナルが必要です。本センターは優秀な人材を揃えています。さらに組織を強化するために、一層、人材の育成に力を入れたいと考えています。

医療の実用化を加速させる、  
中部先端医療開発円環コンソーシアム

本センターは、地域全体で先端医療開発を進めるため、「中部先端医療開発円環コンソーシアム」の活動も支援しています。円環コンソーシアムは、新たな医療技術や医療機器を迅速に開発しようと、本学を中心に中部地域の12の大学・施設が結集した組

織で、多施設共同で臨床試験などを行っています。その規模を活用すれば、治験などがスムーズに進み、中部地域の医療の発展、ひいては世界の医療への貢献につながるものと考えています。

「人」に寄り添い、課題解決に挑む  
先端・先進医療開発は、未来を見据えて、人々の健康と幸せを築くために行われるものです。例えば、今、日本が直面する超高齢社会の問題。それを解決する新しい医学のヒントは、研究室の中ではなく、やはり現場にひそんでいます。私自身も積極的に現場に出向き、さまざまな方の声に耳を傾け、情報収集をしています。草の根の活動で見つけたシーズは、やがて大きな取り組みに発展し、新しい医療の開拓につながるはず。だからこそ今日も現場を歩き、「人」に寄り添いながら、大きな展望と戦略をもって医療の課題解決に挑みたいと思います。

※1 文部科学省  
橋渡し研究加速ネットワークプログラム

有望な基礎研究の成果を臨床へつなげるために、橋渡し研究支援拠点のネットワーク化を図り、シーズ育成能力の強化および恒久的な拠点の確立を目指す事業。名古屋大学は2012年に採択。

※2 厚生労働省  
臨床研究中核病院整備事業

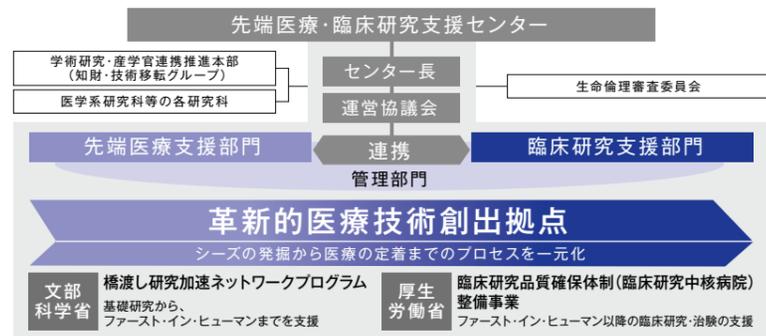
日本発の革新的な医薬品・医療機器を創出するために、複数の病院からなるネットワークの中核病院として、国際水準の臨床研究、難病などの医師主導治験を推進する事業。名古屋大学は2012年に採択。

※3 文部科学省・厚生労働省  
革新的医療技術創出拠点プロジェクト

文部科学省と厚生労働省の上記施策を一体化。アカデミアにおける画期的な基礎研究成果を実用化につなぐ体制を構築し、国際水準の質の高い臨床研究・治験の実施・支援体制の整備を目的とする。名古屋大学は全国15拠点のうちの1つ。

組織概要

2010年設立。シーズ発掘から保険診療に至るまでのプロセスを一貫通的に支援する組織。先端医療支援部門と臨床研究支援部門を設け、優れたシーズの発掘と育成に努めると同時に、質の高い臨床研究の成果を名古屋・中部から世界へ向けて発信することを目標とする。



中部先端医療開発円環コンソーシアム



PROFILE

MIZUNO, Masaaki  
水野 正明

1959年生まれ。名古屋大学大学院医学研究科博士課程修了。医学博士。名古屋大学医学部附属病院病院教授、先端医療・臨床研究支援センター副センター長。名古屋大学総長補佐(産学官連携担当)。専門分野は、分子生物学、脳神経外科学。



平成26年度の主な成果

- 共同倫理審査委員会の設置
- 施設間相互モニタリング体制の構築(施設間SOP)
- 臨床研究セミナーの参加施設へのライブ配信 → 臨床研究認定者制度の構築と必須化
- メディカルデバイス産業振興協議会(名産)とのシーズ・ニーズマッチングシステムの運用・商談
- シーズ情報収集管理システム → 疾患レジストリの開始
- 施設間知的財産連携協議会の開設 → 知財情報の共有化と評価の平準化(目利き)
- 生物統計家を中心とした臨床試験専門家WG → 登録・割付・EDC、SPO/マニュアル、セミナー/OJT